

# GIS資格認定協会（GISCA） 活動報告

GISCA 幹事長 太田守重

第3回GIS上級技術者会議

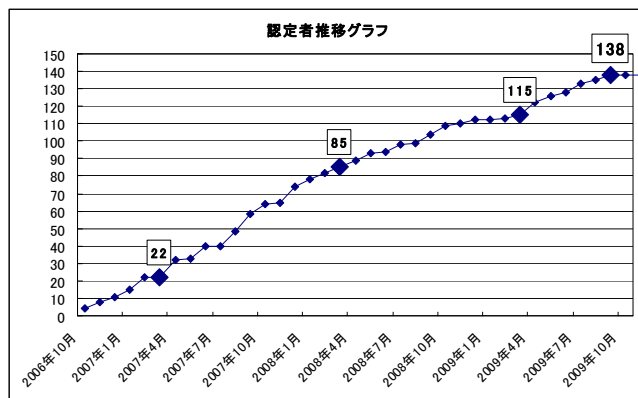
2009年9月29日

## 概要

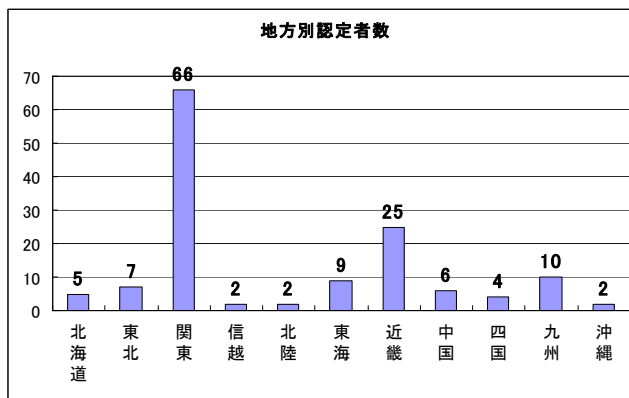
1. 有資格者数，教育認定件数の推移
2. これまでの活動
3. GIS名誉上級技術者
4. 資格の更新

## 1. 有資格者数及び教育認定件数の推移

- GIS上級技術者認定数 **138名** (2009.9.10時点)
  - うち, 30名は2008年度, 23名は2009年度の認定



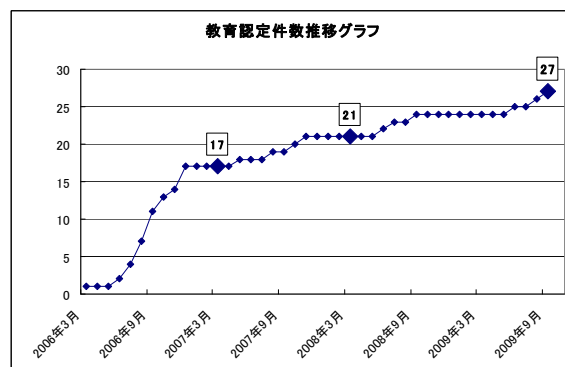
月別認定者数の推移



地方別認定者数

## 1. 有資格者数及び教育認定件数の推移

- 教育認定数 **27件** (2009.9.10時点)
  - うち3件が2009年度の認定



月別認定件数の推移

## 2.これまでの活動（1/3）

- 協会の運営
  - 会議の開催（全体会議，幹事会，関係学会連絡会）
- メールマガジンの発行
  - GISの世界の最新動向，GIS資格の最新情報，有資格者による自己紹介・意見表明，教育認定プログラム・GIS関連イベントの最新情報を記載した「GISCAメールマガジン」を季刊として春号（4月），夏号（7月）の2回発行
- 広報活動
  - 各種イベントでのパンフレット配布
  - 主な配布先
    - 第5回GISコミュニティフォーラム（ESRIジャパン(株)）
    - 第6回公開シンポジウム（CSIS 寄付研究部門）
    - 地理空間情報フォーラム2009（社団法人 日本測量協会）

## 2.これまでの活動（2/3）

- 第2回GIS上級技術者会議の開催（2009.1.27）
  - 開催概要
    - 第一部 講演会 15:00～17:00 参加者 36名
      - 基調講演1：三田啓  
「統合型GIS誕生の頃」
      - 基調講演2：関本義秀  
「地理空間情報活用のこれから」
    - 第二部 懇談会 17:00～19:00 参加者 27名



第一部の様子



第二部の様子

## 2.これまでの活動（3/3）

- 組織の改変について
  - GIS学会の一般社団法人化に伴い，GISCAはGIS学会の下部組織である委員会の1つとして位置づけられた。
  - 組織の位置づけの変更に伴い，「会長」の呼称を「代表」とすることとなった。
- 申請料，登録料の割引期間の終了
  - 2009年3月31日を以って，上級技術者認定申請料・登録料の割引期間が終了した。
  - 2009年4月より，申請料10,000円，認定登録料15,000円の通常料金での受付となっている。

## 3. GIS名誉上級技術者

- GIS分野に長年たずさわリ，社会的・学術的な貢献が顕著で，当該分野の発展・普及に著しい功績が認められ，GIS上級技術者と同等以上の見識及び倫理観をもつと認められる技術者に「GIS名誉上級技術者」の称号を贈呈することが決定した。
- GISCAは，GIS関係団体から推薦を受け審査を行い，GIS学会の承認の元，この資格を授与する。

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (1/7)

- GIS上級技術者は5年ごとの更新が必要
  - 更新により，資格の新鮮さや信頼性を保証する
- GISCAでは2006年度より資格認定を開始
  - 有資格者は2010年以降，順次更新が必要！

そこで

- 更新手続きの概要を説明
  - 詳細は後日ホームページにて公開予定

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (2/7)

- 更新には…
  1. 規定のポイント
    - 教育や専門分野への貢献に関する活動に従事したことを証明するため
  2. 経歴書
    - GIS上級技術者として実務経験を積んだことを証明するための2つの書類を含む申請書類が必要
- 更新申請は，メールによる受付，申請書類の書式やマニュアルは，ホームページより提供
- 更新費用 1万円（予定）

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (3/7)

- 更新に必要なポイント
  - 認定後5年間のうちに獲得したポイントでなくてはならない。
  - 以下の3つのカテゴリから必要ポイントを獲得しなければならない。

カテゴリ	必要ポイント
1. 教育（科目履修や学会等の会議出席）	10
2. 専門分野への貢献	10
3. 追加ポイント：教育，専門分野への貢献 あるいは実務経験の組み合わせ	20
合計ポイント	40

- 「カテゴリ3」は，基本的には「教育」と「専門分野への貢献」の組み合わせポイントとなる。ただし，不足する場合には「実務経験」をポイントとして申請することができる。

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (3/7)

- 更新に必要なポイント（カテゴリ 1 「教育（科目履修や学会等の会議出席）」）
  - 必要ポイント 10ポイント
  - 履修または出席した時間数に応じてポイントが付与される。
    - GISに関連する科目履修や学会等の会議出席の6時間を1ポイントとする。
    - ただし科目履修の場合は，実質活動時間（予習，受講，復習の合計時間）として履修した時間の3倍の時間をポイントの計算に使用する。
  - ポイント算出例
    - 学会の研究発表大会に出席（終日9時～17時：8時間）した場合
$$8 \div 6 = 1.33 \text{ ポイント}$$
    - 2時間の講習を5週に亘り受講した場合
$$2 \times 3 \times 5 \div 6 = 5 \text{ ポイント}$$

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (4/7)

- 更新に必要なポイント（カテゴリ2「専門分野への貢献」）
  - 必要ポイント 10ポイント
  - 書籍の出版や学会発表等，貢献した内容に応じてポイントが付与される。
  - 獲得ポイント例
    - 査読論文の執筆 15ポイント
    - 学会発表 3ポイント
    - イベント参加 3ポイント
  - 各貢献ポイントの一覧は別表参照のこと

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (5/7)

- 「専門分野への貢献」各貢献ポイント一覧

貢献達成度ポイント 一覧表	
I 出版物の種類	出版物あたりのポイント
A. 書籍や地図帳の著者/編者	45
B. 書籍の章の著者や査読論文執筆者	15
C. 刊行地図(編者)	9
D. 編集委員	9
E. 雑誌・論文集の記事, 雑誌・論文集の論説	9
F. 予稿集の研究論文	6
G. 雑誌, 論文集, 会報誌の論説編集	3
H. 会報誌の記事	3
II GISに関する技術者団体への参加	
参加方法	所属あるいは職務における経験年数により獲得されるポイント
I. 代表あるいは会長	15
J. 理事	12
K. 委員長	9
L. 委員	6
M. 会員	3
III GISに関する会議への参加	
参加方法	会議あたりのポイント
N. 会議議長	12
O. 会議委員	6

IV ワークショップ開催	
	ワークショップあたりのポイント
P. ワークショップでの講師	9
V GISに関する学会への発表	
発表方法	1回あたりのポイント
Q. 学会発表	3
R. ポスター発表	3
VI GISに関する受賞	
受賞の内容	受賞あたりのポイント
S. 全国レベル	9
T. 地方レベル	VI
VII GISボランティア	
ボランティア活動	活動あたりのポイント
U. ボランティア任務	1日あたり1.5ポイント
V. ボランティア作業	1時間あたり0.15ポイント
U.及びV.は総従事時間が72時間以上の場合はU., 72時間未満の場合はV.のカテゴリで計算すること	
その他のGISに関する貢献	
参加方法	活動あたりのポイント
W. イベントの企画	6
X. イベントの参加	3
Y. 関連する団体への貢献	3-6

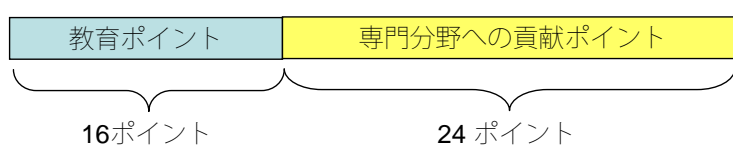
## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (6/7)

- 更新に必要なポイント（カテゴリ3「追加ポイント：教育，専門分野への貢献あるいは実務経験の組み合わせ」）
  - 必要ポイント 20ポイント
  - カテゴリ1及びカテゴリ2と同様の算出方法により，教育あるいは専門分野への貢献の組み合わせで20ポイント必要。
  - 教育及び専門分野への貢献の合計で必要ポイントに満たない場合は，実務経験をポイントとして申請可能。
    - 実務経験1年間を10ポイントとして扱う。
    - 実務経験をポイントとして申請する場合には，その内容を示す小論文の提出を求める。
    - 小論文の作成要領等の詳細は後日ホームページより公開。

## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (補足)

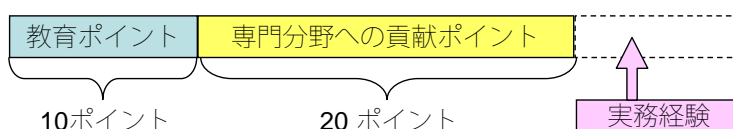
- ポイント獲得の例

例1： 40ポイント



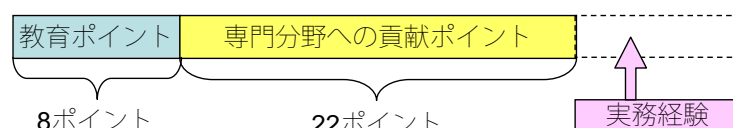
教育ポイント及び専門分野への貢献ポイントが共に10ポイント以上あり，合計が40ポイント以上

例2：



教育及び専門分野への貢献ポイントが共に10ポイント以上あるが，合計が30ポイントであったため，実務経験1年分の小論文（10ポイント）を作成

例3：更新不可の例



更新不可

教育及び専門分野への貢献ポイントの合計が30ポイントであったため，実務経験1年分の小論文（10ポイント）を作成。ただし，教育ポイントが10ポイントに満たない。  
→教育及び専門分野への貢献ポイントは各々最低10ポイントは必須



## 4.GIS上級技術者 資格の更新について (7/7)

- 経歴書
  - GIS上級技術者として実務経験を積んできたことを示す
  - 雇用者あるいは上司の署名・捺印など, 何らかの証明を求める
  - 書式や記載方法の詳細は後日ホームページより公開